

市民と市長の 地域みらい懇談会

【西泊中学校区】

要望・提案と回答

令和2年11月14日（土）
小榊地域センター2階大会議室

市民と市長の地域みらい懇談会【西泊中学校区】

要望・提案一覧

令和2年11月14日（土）開催

※1～8は、当日発表

	要望・提案項目	団体名	担当課	ページ
1	立神公園内の公衆トイレの建て替えについて 公園のトイレ等の整備について	立神町連合自治会	中央総合事務所 地域整備1課	1
2	東立神町の生活道路の整備について	立神町連合自治会	まちづくり部 都市計画課	2～3
3	旧立神小学校跡付近の整備について	立神町連合自治会	理財部 財産活用課	4～8
4	除草・剪定範囲の拡大について	みなと坂連合自治会	中央総合事務所 地域整備1課	9
5	旧小榊小学校跡地活用について	小瀬戸町連合自治会	理財部 資産経営室 ・ 土木部 土木企画課 ・ 建築部 住宅課	10～11
6	市道小瀬戸町線道幅の拡張（整備）について		中央総合事務所 地域整備1課	12
7	小榊小学校の通学路C（旧小榊小～みなと坂）の整備について			13～14
8	四郎ヶ島台場跡の整備について	神ノ島連合自治会	文化観光部 文化財課	15～18

要望・提案項目		団体名	担当課	ページ
9	空き家対策の対応について	立神町連合自治会	建築部 建築指導課	19
10	立神～西泊旧道の整備 について	立神町連合自治会	中央総合事務所 地域整備1課	20
11	今後の自治会の運営について	立神町連合自治会	市民生活部 自治振興課	21～22
12	立神地区の防犯パトロールについて	立神町連合自治会		23～26
13	木鉢町1丁目公民館前～木鉢トンネル入 口までの市道の整備について	木鉢町1丁目自治会	中央総合事務所 地域整備1課	27
14	金水・大浜トンネルの交差点の整備につ いて	木鉢町2丁目自治会		28
15	災害時の停電の復旧について		防災危機管理室	29～30
16	西泊地区の道路開発について	西泊町自治会	土木部 土木企画課	31

回答票

西泊
中学校区

【担当部課名】

まちづくり部 都市計画課

要望内容

【団体名】 立神町連合自治会

【件名】 東立神町の生活道路の整備について

【概要】 立神の東の中の区にもたくさんの高齢者がいらっしゃる。次の世代の人たちの為にも、もう一度生活道路の整備を検討してほしい。

【回答内容】

1 可能 2 一部可能 ③ 不可能 4 調査検討

5 斡旋 6 その他（ ）

長崎市では、斜面市街地における防災性の向上や居住環境の改善を図るため、平成7年度から「斜面市街地再生事業」に着手し、8地区を重点整備地区として位置づけ、生活道路の整備を中心に取組みを進めてまいりました。

しかしながら、事業には多くの家屋移転を伴うことなどから長期化しており、未だ着手していない路線もあることから、各地区のまちづくり協議会や自治会と事業の見直しについて協議を行っているところです。

岩瀬道・立神地区におきましても、地元のまちづくり協議会と連携しながら、平成13年から事業に着手し、地元の皆さまのご協力により平成28年に道路1路線の整備を完成することができましたが、用地取得の難航等により、完成までに長い期間を要しました。

今後も引き続き、他の道路整備に着手したとしても、完成までに長い期間を要することが予想され、この間、建物の修繕や将来計画が立てられないなど地域住民の皆さまにもご迷惑をおかけすることになります。そのため、事業の見直しに向けて地元とも協議を行った結果、令和元年度に当該地区の斜

面市街地再生事業としては終了することと致しました。

ご要望の道路につきましては、当初の岩瀬道・立神地区の整備計画には含まれておらず、新設道路として整備の可能性を検討しましたが、当該地一帯が土砂災害警戒区域(一部特別警戒区域)に指定されていることなどから、整備には多額の費用を伴うことが想定されます。

また、長崎市では人口減少や高齢化が進む中、市民の皆さんが安全・安心で快適な暮らしが続けられる都市づくりを目標とした「立地適正化計画」を策定し、災害の危険性が少ない、より安全な地域を居住誘導区域として定め、緩やかに居住を誘導していくこととしています。

このような点から、ご要望の道路につきましては、整備は難しいと考えていますが、「老朽危険空き家」の除却への支援などにより、斜面市街地にお住いの方々の防災性の向上や住環境の改善に取り組んでまいりますので、ご理解のほどよろしく申し上げます。





施行前



施行後



施行前



施行後



隅切り箇所



回答票

西泊
中学校区

【担当部課名】 中央総合事務所地域整備1課

要望内容

【団体名】 みなと坂連合自治会

【件名】 除草・剪定範囲の拡大について

【概要】

現状、市役所に、幹線道路沿いの除草・剪定を年1回やっていただいている。これに加えて、特に通行に支障をきたしている場所など、自治会からの要望に対応していただいたこともある状況。今後、もう少し範囲を増やしていただけないか、検討をお願いしたい。

また、植栽木（高木、つつじなどの低木）も大変多く、数量を減らすことなども検討をお願いします。（維持費低減）

【回答内容】

- 1 可 能 2 一部可能 3 不 可 能 ④ 調査検討
5 幹 旋 6 その他（ ）

日頃より、地域住民の皆様による道路・公園施設の清掃や除草などご尽力、ご協力いただいていることにつきまして、この場をお借りして感謝申し上げます。

ご要望の内容にあるように幹線道路沿いなどは、年に1回程度の除草を地域住民の皆様の維持管理へのご協力をいただきながら実施しております。

また、公共施設の利用に支障がないよう維持・修繕などに取り組んでいるところです。

ご要望の除草・剪定範囲の拡大や街路樹の高低木の本数を含めた改善など維持管理の軽減を図るためにも維持管理計画の必要性は、十分に認識していますので、今後は、貴自治会の皆様と協議を進めてまいりたいと考えております。

難しいものと考えています。

以上のとおり、旧小榊小学校跡地は行政目的での活用の予定がない状況であるため、今後は地域の活性化につながるような売却を基本とした対応を行いたいと考えております。

舗装滑り止めイメージ図



回答票

西泊
中学校区

【担当部課名】

文化観光部 文化財課

要望内容

【団体名】 神ノ島連合自治会

【件名】 四郎ヶ島台場跡の整備について

【概要】

四郎ヶ島台場跡は、2014年に国指定史跡に追加指定となったが、今日まで何ら史跡を守る手立てはなされていない。台場を守る北側の石垣は、崩壊寸前であるため、一日も早い修復工事が必要である。台場跡を所有する神ノ島町3丁目自治会は現在活動休止中であるが、佐賀のNPO法人技術交流フォーラムからも神ノ島連合自治会あてに要望が行われており、神ノ島連合自治会としても日本の近代化の窓口であった長崎の観光資源の一つとして、四郎ヶ島の整備を切に願っている。

【回答内容】

- 1 可能 2 一部可能 3 不可能 ④ 調査検討
5 斡旋 6 その他（ ）

四郎ヶ島台場跡は、江戸時代、中国・オランダに開かれていた長崎港を警備するために築造された国指定史跡「長崎台場跡」の1つとして、平成26年3月18日に追加指定された長崎市の貴重な文化財であり、地域で大切に見守っていただいていることに対し、心から感謝申し上げます。

四郎ヶ島台場跡に関しては、長崎市が有識者等の意見を踏まえ、平成27年度に策定した「保存活用計画」においても、特に一部が崩落している北側石垣の復旧については重要な課題として位置づけており、なるべく早期に着手すべきであると判断しています。

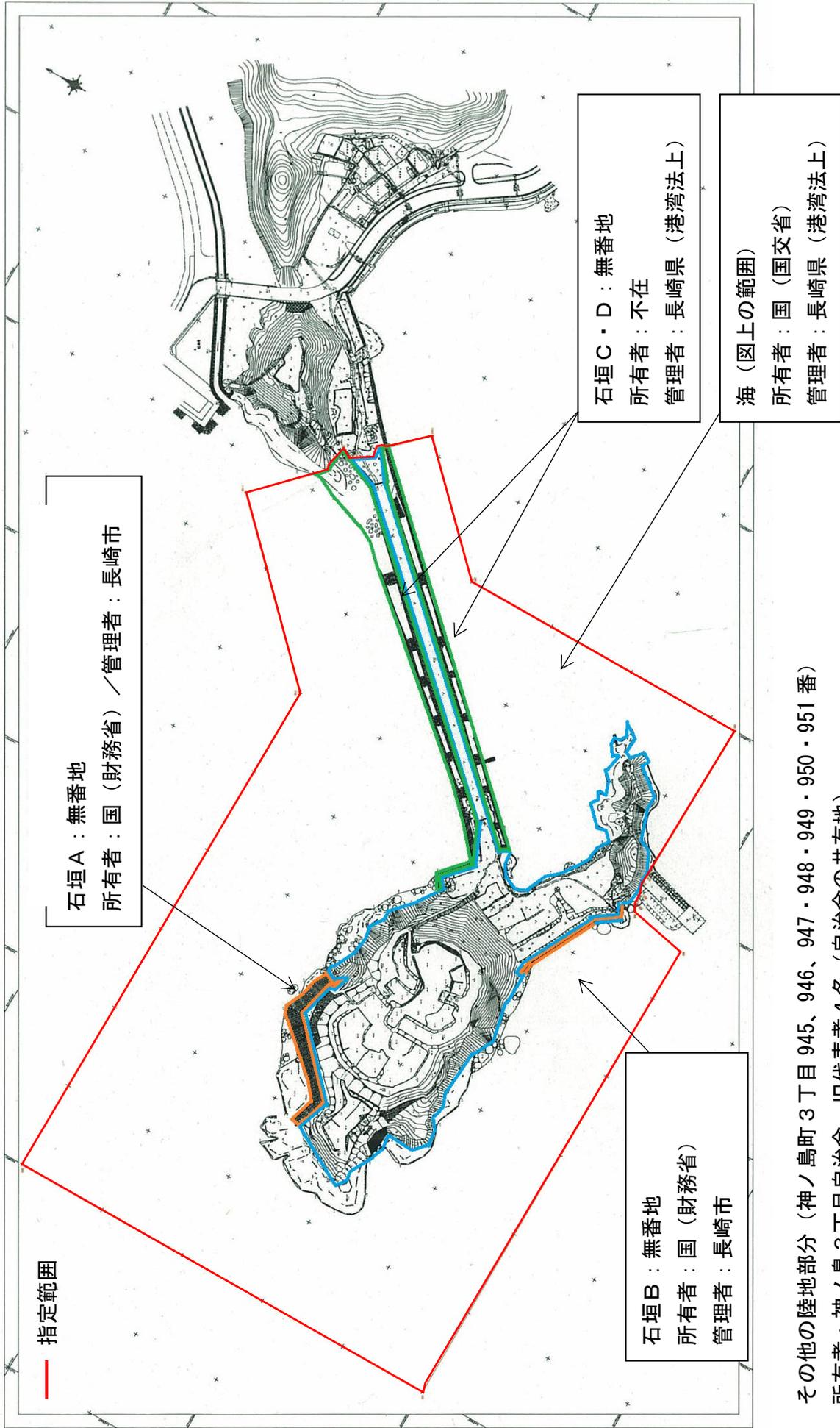
史跡の状況については、長崎市も定期的に確認を行っているところですが、陸地の多くは神ノ島町3丁目自治会の共有地となっており、石垣の復旧はもとより、後の公開活用も見据えた整備を実施していくにあたっては、調

査のための立ち入りを含め、地元自治会の合意が必要です。

しかしながら、史跡指定後の手続きにおいて、それらの合意が得られないまま、現在、神ノ島町3丁目自治会は活動を休止されており、長崎市としても今後の対応が難しくなっています。

そのような状況ではありますが、四郎ヶ島台場跡の整備については、長崎独自の歴史的価値を有する長崎台場跡の本質的な価値を保存・継承し、観光振興にも効果的に活かしていくため、地域の皆様にもご相談しながら、国・県とも連携して進めていきたいと考えていますので、今後ともご協力を賜りますようお願いいたします。

国指定史跡 長崎台場跡四郎ヶ島台場跡 指定範囲図





回答票

西泊
中学校区

【担当部課名】

市民生活部 自治振興課

要望内容

【団体名】 立神町連合自治会

【件名】 今後の自治会の運営について

【概要】

5年後も現在の自治会、組織、体制、活動を維持できるか不安視している。「5年後の自分たちの自治会はどうなっていると思うか」について、全自治会役員に、一度本音のアンケートを取ってみてはどうか。将来を見つめた自治会のあり方を抜本的に見直す必要があると思う。

【回答内容】

- 1 可 能 2 一部可能 3 不 可 能 ④ 調査検討
5 幹 旋 6 その他 ()

自治会は、地域の皆さんが地域のまちづくりのために自主的に結成、活動されており、様々な取組みを行っていただいています。

長崎市としましても、毎月の広報ながさきの配布や、各課からのお知らせ等について資料の発送の際に、自治会内での配布などで市政の情報発信にご協力をいただいておりますことや、その他各種事業の推進に際して、ご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

現時点では、自治会役員の方を対象にアンケートを実施する予定はありませんが、ご意見にありますとおり、高齢化や多様な働き方が出てくる中で、皆さんの自治会活動についてもその継続性について困難さを感じておられることについては、長崎市としましても認識しているところです。

今までも、そしてこれからも、自治会は、地域の皆さんの身近な生活を支える上で重要な役割を果たしており、なくてはならない存在であると考えております。

私たちを取り巻く社会状況が変化する中で、自治会活動を継続していくために、地域の様々な状況に応じて、地域の皆さんで協議を重ねていただく際に、長崎市としましても、他の自治会の事例等をお示しするなど、支援に努めていきたいと思えます。

現在、長崎市では、自治会をはじめとする様々な団体が連携し、地域課題の解決のための取組みを行う「地域コミュニティ連絡協議会」の設立を推進しています。地域コミュニティ連絡協議会で、地域のまちづくりを少し大きな範囲で捉え実施することで、自治会だけが担っていた事業についてもほかの団体等と協力して実施できると考えております。

地域の皆さんにとって活動しやすい取組み方を一緒に考えさせていただければと思えますので、何かありましたら、お声掛けくださいますようお願いいたします。

また、2点目の青色回転灯防犯パトロールの回数を増やしてほしいという点につきましては、実際にパトロールを行っていただいている稲佐地区安全パトロール隊にお伝えはしていますが、この活動はボランティアであり、隊員の皆様の御都合のつく範囲内で活動をしていただいておりますので、御理解をお願いします。

どちらの御要望も地域の皆様の御理解と御協力が必要不可欠と考えていますので、地域の皆様で、地域の実情に合った取組みを御検討いただければと存じます。

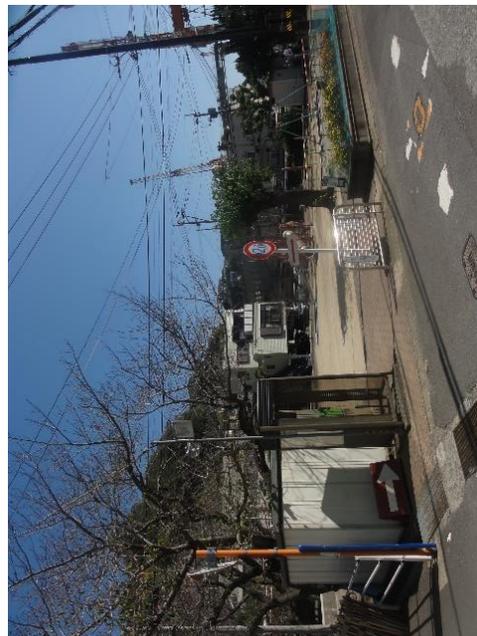
なお、長崎県警察におかれましては、「カギかけんば」「ひと声かけんば」「見守りせんば」の犯罪なく3（さん）ば運動を地域ぐるみの運動として呼び掛けておられますが、引き続き、パトロールも実施していただくようお願いしています。

長崎市といたしましても、引き続き、自主防犯意識の啓発に努めるとともに、地域の自主防犯活動に対する支援を行っていきたいと考えています。

1 西泊中学校通路(要望箇所)写真



2 立神公園写真



回答票

西泊
中学校区

【担当部課名】 中央総合事務所地域整備1課

要望内容	【団体名】 木鉢町1丁目自治会
	【件名】 木鉢町1丁目公民館前～木鉢町トンネル入口までの市道の整備について
	【概要】 木鉢町1丁目公民館前～木鉢トンネル入り口までの約500m距離の市道(木鉢～大浜ラインのスタート部分)の再舗装、白線の引き直しをしてほしい。この市道は住宅密集地にあり、毎日(日曜日を除いて)朝5時から石油輸送の大型トレーラが行き来しており近隣の道路沿いの住民はその振動と騒音に大変な迷惑を受けている。特に毎朝5時～8時頃までの時間帯に大型車の通行が多く、生活の支障になっている。出光油槽所には、スピードを抑える等を申し入れ協力を受けているが、振動と騒音を抑えるためには再舗装での大型車のスムーズな走行を実現することが必要だと思う。
【回答内容】	
<p>① 可 能 2 一部可能 3 不可 能 4 調査検討</p> <p>5 幹 旋 6 その他 ()</p>	
<p>ご要望の箇所を現地調査したところ、全長約500mのうち木鉢町1丁目公民館前付近から木鉢1丁目公園の約200mの区間において、アスファルト舗装の亀裂などを確認しました。</p> <p>したがいまして、路面の状態や周辺家屋への影響等を詳しく調査・検討し、来年度から段階的に亀裂等が著しい箇所から整備に取り組みたいと考えております。</p> <p>また、白線の引き直しにつきましても舗装工事に併せて行いますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>	

回答票

西泊
中学校区

【担当部課名】 中央総合事務所地域整備1課

要望内容

【団体名】 木鉢町2丁目自治会

【件名】 金水・大浜トンネルの交差点の整備について

【概要】 女神大橋からの道路で、金水トンネル、大浜トンネルの交差点のアスファルトが荒れており、凹凸がひどい。観光地長崎にふさわしくなく、危険であるため、整備をしてほしい。

【回答内容】

1 可能 2 一部可能 3 不可能 4 調査検討

⑤ 幹旋 6 その他（ ）

ご要望の箇所については、主要地方道長崎南環状線であり道路管理者が長崎県であることから、ご要望の内容を長崎振興局道路維持課にお伝えし、対応をお願いしたところ、令和2年11月16日の週に整備を予定していることの報告がありました。

長崎振興局道路維持課から連絡がありましたらご協力のほどよろしくお願ひいたします。

回答票

西泊
中学校区

【担当部課名】

防災危機管理室

要望内容

【団体名】 木鉢町2丁目自治会

【件名】 災害時の停電の復旧について

【概要】 台風9号、10号と連続で停電し、回復に時間がかかった現状がある。復旧に努力いただいているのには感謝しているが、どうにかならないものか。

【回答内容】

- 1 可能 2 一部可能 3 不可能 4 調査検討
5 斡旋 ⑥ その他（状況報告）

台風10号の際は、長崎市内でピーク時に約4万5千戸の大規模な停電が発生したことから、九州電力による復旧作業がすべて完了するまでに約3日、木鉢地区では約1日半を要しました。

一般的に台風における停電は、暴風による倒木や飛来物などで電線が切れたり、電柱が倒壊することなどが原因で発生します。

これらの原因に加え、長崎市は海に囲まれているという地理的な特性がありますので、木鉢地区に限らず沿岸部の広い範囲において、強風で巻き上げられた海水の塩分が電気設備に付着（塩害）し、塩分の作用により電気が流れやすくなってしまうことで、電線のショート等の設備不良が生じた結果、停電につながる場合があります。

九州電力においては、台風のルートや規模に応じて被害を予測し、復旧体制を構築しておりますが、台風通過後、現場の安全が確認されてから電線の交換等を手作業で行う必要があり、復旧までに時間がかかるケースもあります。九州電力においては、ホームページや広報車において随時、停電情報を

発信しておりますが、それらに加えて長崎市のホームページでも停電地区などの情報を掲載し周知を図っています。

また、地球温暖化の影響により台風が大型化する傾向にあり、昨年、千葉県に上陸した台風15号では、大規模な停電が長期間続くなど甚大な被害をもたらしました。大型台風による停電は避けられないものですので、日ごろから停電時の対処について考えておくことが大切です。台風が接近する際は、夜の停電に備えて懐中電灯、そして停電が長時間に及ぶ場合に備えて、携帯電話の電池切れを防ぐためのモバイルバッテリーなどの準備をお願いします。

今後につきましても、防災講話などあらゆる機会を捉えて、停電への備えなど必要な情報の周知に努めてまいります。

